

平成 20 年度 事業計画

【基本方針】

北九州ロボットフォーラムは、産学官で構成する北九州市のロボット産業振興のためのプラットフォームとして下記の活動を行う。

導入可能なロボットやロボット技術の研究開発支援

開発・実証段階を経たロボットについての実用化・事業化支援

人材育成の推進と情報発信・交流の促進

【平成 20 年度事業】

1 会議の開催

(1) 総会の開催

平成 20 年 6 月 26 日 (木) 西日本総合展示場 中展示場 (AIM3 階)

(2) セミナーの開催

産学連携フェアに併せて、ロボットや関連技術に関するセミナーを開催する

2 研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進する。ユーザーとのマッチングや国等の研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行う。

(1) 市内発ロボット創生事業

北九州市内でのロボットニーズ調査から試作品づくりまでを、トータルにサポートすることにより、新たなプロジェクトの立上げやニーズに応じた開発を支援する。

(2) 研究開発プロジェクトへの支援

市内の大学や企業等で進められている様々な研究開発プロジェクトに対し、研究会の運営や技術的な課題への助言、ユーザー側とのマッチング、国等の研究開発助成の獲得支援などのコーディネート活動を行う。

ライフメンテナンスロボット

F A I S の中小企業産学官連携研究開発事業助成事業

空港内搬送案内ロボット

ロボット産業振興会議助成事業

連携融合事業

北九州空港案内ロボット「メーテル」など、九州工業大学 H I T センターで開発したヒューマンインターフェイス機能を駆使した人に優しいロボットの実証化・事業化を支援する。

3 実用化・事業化の支援

会員による製品・技術の紹介など、市場創出に向けた取り組みを実施する。また、開発熟度の高いプロジェクトに対して実証の場の提供を行う。

(1) ロボット産業マッチングフェア北九州の開催

会員によるロボット関連製品・技術及び研究成果発表を通して、継続的なビジネス機会の創出を図る。

平成 20 年度：平成 20 年 6 月 26～28 日 会場：西日本総合展示場 新館

(2) 実証フィールドの提供

試作が完成し実証段階を迎えた研究開発プロジェクトについて、公共施設等を実証フィールドとして活用できるよう調整を図る。

例：下水道管渠検査ロボット、空港内搬送案内ロボットなど

(3) ロボット導入に伴う安全対策の検討

ロボットを実際に導入・運用していく上で必要な安全対策について、実証試験でのリスク評価など安全性を担保するルールや体制づくりなどの検討を行う。

4 人材育成の推進

人材育成の一環として北九州学術研究都市の学生を中心に活動しているロボカップチームを支援する。また、子供工作教室等の開催により、次代の人材育成に寄与する。

(1) ロボカップチームへの支援

国際的なロボット競技「ロボカップ」に参加している北九州学術研究都市の学生等からなる合同チームに対し、技術的な助言・サポートや活動場所の確保、各種展示会やイベント等での取り組みの紹介などの支援を行う。

(2) 次代を担う人材の育成

ロボット技術者養成への第一歩として、小中学生を対象としたロボット工作教室等を開催し、子どもたちが初めてロボット製作に触れる機会を提供する。

5 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報やフォーラムの活動を積極的に発信する。

(1) 展示会の開催

6 月 26 日～28 日 ロボット産業マッチングフェア北九州（西日本総合展示場）

(2) 展示会への出展

6 月 26 日～28 日 ロボット産業マッチングフェア北九州（西日本総合展示場）

10 月 8 日～10 日 産学連携フェア（西日本総合展示場）

(3) フォーラムのPRの推進

各展示会や会議等への出展のほか、ホームページやニュースレターによる情報発信により、市内外に広くフォーラムの活動を発信する。